

第 2 日 令和 6 年 12 月 15 日 (日)

第 1 会場A 1F【木曽】

第 1 会場B 1F【淀】

第 2 会場 1F【信濃】

第 3 会場 3F【立山】

第 4 会場 3F【穂高】

第 5 会場 3F【霧島】

9:00	9:00～11:30 主題6 「EUSを用いた診断と治療」 司会：入澤 篤志 総括発言：伊佐山浩通 -s85-	9:00～11:00 主題7 「内視鏡診療におけるリスクマネジメント・周術期管理」 司会：藤城 光弘 阿部清一郎 総括発言：永尾 重昭 -s89-	9:00～10:00 症例検討セッション 「食道」 司会：小田 一郎 草野 央	9:00～9:40 一般演題「食道」 牧口 菜衣・鈴木 信之 -s117-	9:00～9:32 一般演題「大腸」 田邊 万葉・稲場 淳 -s120-	9:00～11:30 ハンズオンセミナー 「胆膵」 総合司会：中井 陽介 EUSインストラクター： 阿部 孝広 奥脇 興介 佐藤 達也 三輪 治生 ERCPインストラクター：圭 齋藤 正一 永井 有 中原 一有 白田龍之介 協力： オリンバスマーケティング株式会社
10:00			10:00～11:00 症例検討セッション 「胃」 司会：岩本 淳一 矢野 友規	9:40～10:12 一般演題「胃①」 宮崎 蔵人・竹内 千尋 -s119-	9:32～9:56 一般演題「十二指腸・小腸」 福山 知香・大久保政雄 -s121-	
11:00				10:12～10:36 一般演題「胃②」 阿部 大樹・小田 実 -s120-	9:56～10:20 一般演題「胆道①」 高橋 翔・関根 章裕 -s122-	
12:00					10:20～10:48 一般演題「胆道②」 大塚 奈央・渡辺 浩二 -s123-	
13:00	12:10～13:10 ランチョンセミナー5 「長期寛解維持のための潰瘍性大腸炎の治療戦略～最適なモニタリングを考える～」 司会：穂苅 量太 演者：竹内 健 共催：ヤンセンファーマ株式会社	11:10～12:00 エキスパートセミナー1 「胆膵 EUS 診療の基本」 司会：高本 俊介 演者：水出 雅文 共催：オリンバスマーケティング株式会社	11:10～12:00 エキスパートセミナー2 「内視鏡治療の新时代はじまる～食道・胃・十二指腸ESDからPOEMまで～」 司会：依田 雄介 演者：富田 英臣 共催：富士フィルムメディカル株式会社	司会：穂苅 量太 演者：都築 義和 共催：田辺三菱製薬株式会社	司会：横山 薫 演者：小金井一隆 共催：日本化薬株式会社	
				11:30～12:00 エキスパートセミナー3 「潰瘍性大腸炎のバイオマーカーと内視鏡像から治療効果を予測できるか？」	11:30～12:00 エキスパートセミナー4 「クローン病に対する外科治療の現況」	
14:00	13:30～16:30 JGES-Kanto Cup 司会：郷田 憲一 矢野 智則 評価者：高本 俊介 大野亜希子 栗林 志行 -s97-	12:10～13:10 ランチョンセミナー6 「潰瘍性大腸炎治療におけるペトリスマブの有効性・安全性～皮下注射剤の自験例も含めて～」 司会：都築 義和 演者：加藤 真吾 共催：武田薬品工業株式会社	12:10～13:10 ランチョンセミナー7 「①「Tobacimab」の使用経験からみる潰瘍性大腸炎の治療戦略②UC診療における診断と治療の実際について～RWD(リアルワールドデータ)から見えるトファシチブの位置づけ～」 司会：岡本 隆一 演者：菅谷 武史 清岡美奈子 共催：ファイザー株式会社	12:10～13:10 ランチョンセミナー8 「臨床におけるピュアスタットの有用性と期待」 司会：糸井 隆夫 演者：川崎慎太郎 平澤 欣吾 共催：株式会社スリー・ディー・マトリックス	12:10～13:10 ランチョンセミナー9 「潰瘍性大腸炎患者の臨床像から学ぶ～オンボロの最悪症例とは～」 司会：今枝 博之 演者：堀内 朗 共催：持田製薬株式会社	
15:00						
16:00						
17:00	16:30～16:40 閉会の辞					